

令和8年度 学力向上アクションプラン

学校番号 103

江戸川区立平井小学校

「全国学力・学習状況調査」平均正答率東京都との差				「江戸川区学力調査」平均正答率全国との差										
学年		第6学年		学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		
年度		国語	算数	合計	年度		国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
令和12年度の目標					令和12年度の目標									
令和11年度の目標					令和11年度の目標									
令和10年度の目標					令和10年度の目標									
令和9年度の目標					令和9年度の目標									
令和8年度の目標		+2	+1	+3	令和8年度の目標		+6	+5	+2	+3	+2	+3	+5	+3
令和7年度の結果		+2	0	+2	令和7年度の結果		+5.2	+4.7	+0.6	+2.2	+5.6	+2.6	+3.6	+4.5
令和6年度の結果		-2	0	-2	令和6年度の結果		-2.4	-4.3	+1.4	-0.7	+1.1	+4.3	+0.5	+5.8
令和5年度の結果		0	+1	+1	令和5年度の結果									

年度	令和7年度 成果と課題		令和8年度 目標		令和8年度 目標達成に向けた取組	
内容			目標		目標達成に向けた取組	
学校全体	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「全国学力・学習状況調査」「江戸川区学力調査」の結果は、全学年共に昨年度よりも都や全国の平均正答率を上回る結果となった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○算数科では、知識・技能に関わる問題において、基礎的・基本的な学習内容が身に付いていない部分が見られた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の定着を目指し、「全国学力・学習状況調査」「江戸川区学力調査」において、東京都の平均以上を達成する。 ○東京ベーシックドリル診断テスト結果の正答率50%以下を2割程度に減らす。 		<ul style="list-style-type: none"> ○放課後学習教室、とことんタイムの充実を図る ○Study weekの年3回の設定時に、東京ベーシックドリル診断テストを実施、前学年の学習内容を復習し、学習内容の定着を図る。 ○年間30回のおよむYOMUワークシートを活用 ○校内研究を算数科し、年間6本の研究授業を実施 ○授業で問題に取り組む時間、放課後補充のとことんタイムを設定し、国語・算数の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ○ドリルパークやワーク、日記など家庭学習の充実を目指し、学習習慣の定着を図る。 ○「計画しよう」「やってみよう」「振り返ろう」の流れの学習は継続して行い、振り返りカードを書いたり、自分の思っていることを表現する活動をしったりするなど基礎的・基本的な知識・技能を活用する場面を設定する。 	
第1学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○様々な教科で「計画しよう」「やってみよう」「振り返ろう」の流れで学習を行ったため、自分なりのめあてをもち、振り返りを書くことができるようになった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○特殊音節やカタカナ、漢字は、プリントやテストなどの問題は正答しているが、文章を書くなどの活用する場面では適切に書くことができず、定着に課題が見られる。 ○算数の文章問題では、問題を正しく立式することができず、問題を解決する力を身に付けさせたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能を定着させる。 ○基礎的・基本的な知識や技能を適切に活用できる力を身に付ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ○授業で問題に取り組む時間、放課後補充のとことんタイムを設定し、国語・算数の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 ○ドリルパークやワーク、日記など家庭学習の充実を目指し、学習習慣の定着を図る。 ○「計画しよう」「やってみよう」「振り返ろう」の流れの学習は継続して行い、振り返りカードを書いたり、自分の思っていることを表現する活動をしったりするなど基礎的・基本的な知識・技能を活用する場面を設定する。 	
第2学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のめあてや振り返りは各自書くことができる。国語も算数もテストでは点数を取ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漢字テストでは書いていても普段から漢字を正しく使って文章を書くまでになっていない。 ○算数では長さの単位や形の名称など覚えられていない。また、文章問題が解くことが困難な児童がいる。 ○学習の型はできているが、知識の定着と活用が弱い。 		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能を確実に定着させるとともに学習した内容を文章や問題解決の場面で活用できる力を育てる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○短時間の反復練習を継続的に行う。漢字テストや計算練習を定期的に変更し、間違えた問題は再度取り組み機会を設ける。算数では単位の名称など、指示物や日常的な声掛けを通して繰り返し確認する。 ○学習した漢字を日記や文章の中で積極的に使うよう指導し実際の表現の中で定着を図る。 ○国語では「だれが、何をどうした」を意識して考える習慣をつける。算数では文章問題に取り組む際に「わかっていること」「求めること」を整理しながら、考える活動を取り入れる。 ○学習のめあてと振り返りを継続的に行い、学習を通して「できたこと」や「次に取り組むこと」を自覚させることで主体的に学習に向かう態度を育てる。 	
第3学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの教科も、進んで発言し、友達の意見を聞き、自分の考えを広げようとする姿が見られた。 ○四則計算などの基礎的な計算技能の定着が見られた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを理由や根拠をもとに説明する力に個人差が見られる。 ○問題を正確に読み取り立式する力や、自分の考えを言葉や式を使って説明する力に課題が見られる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○理由や根拠を明確にしなが、自分の考えを言葉や式で説明する力を育てる。 ○問題文を正確に読み取り、立式する力を伸ばす。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループでの意見交流を取り入れ、理由や根拠を伝え合う活動を充実させる。 ○図・表・式を関連付けながら考えを説明する活動を継続的に行う。 ○問題文の大切な言葉に着目させるなど、読み取る力を育てる指導を工夫する。 ○算数では図や表を用いて、数量の関係を考える学習を取り入れる。 	
第4学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○江戸川区学力調査の結果は、全国平均をほぼ上回り、算数の知識技能の定着が見られた。ベーシックテストの見直し、カルテの活用により、効果的に復習できた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」の領域での未記入が目立った。問題の意図を読み取り、文章に表現することに課題が見られる。 ○「言葉」の領域が全国平均を下回った。習得した漢字を活用できていない。 		<ul style="list-style-type: none"> ○問題の意図を捉え、立式したり文章にまとめたりする力を育てる。 ○既習漢字を確実に復習する。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ペアやグループでの意見交流を取り入れ、理由や根拠を伝え合う活動を充実させる。 ○問題文の大切な言葉に着目させるなど、読み取る力、書く力を育てる指導を工夫する。 ○国語科では、YOMUよむに引き続き取り組むことに加え、要約するなど文章化する力を育てる。 ○反復学習で、基本的な知識や技能の定着を目指す。 	
第5学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自身の課題に合わせた学習のめあてや振り返りを書くことができる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「書くこと」の領域では、書くこととする意欲はみられるが、句読点や原稿用紙のマスの使い方が課題である。また、問題の意図に沿った内容を書くことに課題が見られる。 ○学力調査の結果から、算数科では、「変化と関係」の点数が全国平均よりも低かった。 		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎的・基本的な知識や技能を定着させる。 ○国語科では、正しい原稿用紙の使い方、問題の意図に沿った内容を書く力を育てる。 ○算数科では、問題を正しくとらえ、立式できる力を育てる。 		<ul style="list-style-type: none"> ○反復学習で、基本的な知識や技能の定着を目指す。 ○よむYOMUワークシートの問題に取り組む、作文用紙の書き方を指導する。 ○問題文の言葉に注目させながら、正しい捉え方や答え方を指導する。 	
第6学年	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自らの学習を振り返り、より探究的に学習に取り組もうとする児童が増えた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科において、「書くこと」「話すこと・聞くこと」の領域で、全国平均並であった。 ○算数科において、「数の計算」「データの活用」の領域に苦手意識がある。0層の割合が6%増えた。 		<ul style="list-style-type: none"> ○基礎基本の知識・技能を定着させる。 ○国語科では、自分の考えをしっかりとまとめて書く練習を繰り返し行う。 ○算数科では、基礎的な計算練習に繰り返し取り組み、データの変化に着目して整理できるようにする。 		<ul style="list-style-type: none"> ○反復学習で、基本的な知識や技能の定着を目指す。（ドリルパークやテストパークの活用） ○よむYOMUワークシートの問題に取り組む、要約力を高める。 ○問題文の言葉に注目させながら、正しい捉え方や答え方ができるように指導を行う。 	